

2012年度 中部学院大学人間福祉学部

# 卒業生の生涯学習・キャリア等現況調査

(岐阜県福祉・介護人材確保対策事業)

残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。卒業生の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本の福祉を支えるべく、高度な専門知識と技術の獲得に励まれた4年間をベースに、様々な場面・角度から人間福祉（Human Well-being）アプローチを遂行されておられることと推察しております。厳しい経済状況下で発生した未曾有の大震災・原発事故は、あらゆる ill-being をもたらし、待ったなしの人間福祉の実践が求められました。日本の福祉は極めて難しい課題に直面しておりますが、世界からの注目に応えるためにも、新たな一歩を踏み出す必要があります。

このような状況を鑑み、卒業生の皆様に人間福祉実践の状況をお聞きし、人間福祉学部としてどのように支援させていただくべきかを検討することになりましたのでご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中部学院大学人間福祉学部学部長 寺嶋 正己

## 【本調査の趣旨】

中部学院大学人間福祉学部におきましては、2012（平成24）年度岐阜県より「福祉・介護人材確保対策事業（潜在的有資格者等再就職支援事業）」の補助を得て、福祉・介護に関する高等教育を終えた皆さんが、一日でも長く福祉・介護の職を、働きがいをもって継続され、たとえ一旦離職したとしても、生きがいや誇りを感じながら復職し、働き続けられる方策を探る調査・研修・評価の一連の事業を実施することになりました。

また卒業生の皆さんの現況を把握し、今後、本学が皆さんの母校として皆さんの期待に如何に答えていくのかを検討する基礎データを得ることを目的としています。

この調査は、人間福祉学部の全ての卒業生＝2,750人を対象に実施します。

そこで皆さんに次の3つのお願いがあります。

1. **次ページのアンケート調査に回答し、回答記入用ハガキを投函して下さい。返送頂いたハガキに記入された情報は、上記の目的以外には使用しません。**
2. **人間福祉学部が主催する「学部卒業生の集い（ホームカミング・ディ）」に参加してください。**
3. **生涯学習の一環として実施する「パイロット・研修（無料）」にモニターとして参加し、研修プログラムの評価者（薄謝あり）となってください。**

## 本 件 の 担 当

1. 人間福祉学部准教授 宮嶋 淳

(TEL: 0575-24-2211 E-mail: miyaji@chubu-gu.ac.jp)

2. 教務部生涯学習課 村上 進

(TEL: 0575-24-9460 E-mail: murakami@chubu-gu.ac.jp)

## お願い 1

上記の趣旨をご理解いただき、次の設問 1～10 について該当する番号を選び、回答記入用ハガキを 9 月 10 日(月)までにご返送下さい。アンケート結果の公表については、年度末に発行する報告書並びに本学ホームページへの掲載に代えさせていただきます。

なお、プライバシー保護シールを同封しておりますので、ご活用ください。

問 1. あなたが現在取得している福祉系資格は次のうちどれですか。1つ選んでください。

1. 社会福祉士のみ
2. 精神保健福祉士のみ
3. 介護福祉士のみ
4. 介護支援専門員のみ
5. 社会福祉士＋精神保健福祉士
6. 社会福祉士＋介護福祉士
7. 精神保健福祉士＋介護福祉士
8. 社会福祉士＋精神保健福祉士＋介護福祉士
9. 社会福祉士＋介護支援専門員
10. 精神保健福祉士＋介護支援専門員
11. 介護福祉士＋介護支援専門員
12. 社会福祉士＋精神保健福祉士＋介護支援専門員
13. 社会福祉士＋介護福祉士＋介護支援専門員
14. 精神保健福祉士＋介護福祉士＋介護支援専門員
15. 社会福祉士＋精神保健福祉士＋介護福祉士＋介護支援専門員
16. その他、非該当

問 2. あなたが現在勤務している職場の区分は次のうちどれですか。1つ選んでください。

1. 公務員
2. 学校教育
3. 農林漁業
4. 製造・建設業
5. 公益的事業
6. 金融業
7. サービス業
8. 飲食業
9. 生活・娯楽
10. 教育サービス
11. 医療サービス
12. 児童福祉
13. 障がい福祉
14. 高齢者福祉
15. 地域福祉
16. NPO・NGO
17. その他

問 3. 現在の仕事は、今年で何年続けていますか。年数を数字で答えてください。

(回答例： 3年目＝「3」 4年半＝5年目＝「5」)

問 4. 現在の仕事に対する満足度を 10 点満点で採点すると、何点になりますか。

問 5. 仕事の満足度を高めるために必要だと思うものを、3つ選んでください。

1. 賃金・労働時間等の労働条件が改善される
2. 能力や仕事ぶりが評価され、配置や処遇に反映される
3. 非正社員から正社員への転換の機会が設けられる
4. 新人の指導担当・アドバイザーが置かれている
5. 能力開発が充実される
6. 労働時間の希望が聞かれる
7. 仕事内容の希望が聞かれる
8. 不満・不安などの相談窓口が設けられる
9. 健康対策や健康管理に力が入られる
10. 職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化が図られる
11. 経営者と従業員・職員が経営方針等共有する機会が設けられる
12. 福利厚生が充実され、職場内の交流が深められる
13. 職場環境が整えられる
14. 子育て支援が行われる

15. 離職理由を分析し、早期離職防止等の方策に役立てられる
16. その他
17. とくに方策はない

問6. 大学での学びは、現在、生かされていますか。該当するものを1つ選んでください。

1. たいへん生かされている
2. まあまあ生かされている
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば、生かされていない
5. 全く生かされていない

問7. 転職について、どのように考えていますか。1つ選んでください。

1. 全く考えていない
2. ほとんど考えることがない
3. たまに考えることがある
4. 常に考えている
5. 今すぐにも、転職したい

問8. あなたが望む年収（＝税込、総額）はいくらですか。1つ選んでください。

1. 300万円以下
2. 300～500万円程度
3. 500～700万円程度
4. 700～900万円程度
5. 900万円以上

問9. 今年10月27日(土)、たのしみ祭「ホームカミング・デイ」と同時に開催される、人間福祉学部主催の「学部卒業生の集い」への参加について、あなたのお気持ちに一番近いものを1つ選んでください。

1. 是非、参加したい
2. できれば参加したい。
3. わからない。
4. どちらかというとな参加しようと思わない。
5. 参加しない。

問10. 生涯学習（卒業後教育）の一環として実施する「パイロット・研修プログラム」にモニターとして参加することについて、あなたのお気持ちに一番近いものを1つ選んでください。

1. 是非、参加したい。
2. できれば参加したい。
3. わからない。
2. どちらかというとな参加しようと思わない。
3. 参加しない。

**質問は以上です。**

**回答記入用ハガキに必要事項を記入し、9月10日(月)までに最寄りの郵便ポストに投函して下さい。**

**ご協力、ありがとうございました。**

## お願い2

今年10月27日(土)、たのしみん祭「ホームカミング・ディ」と同時に開催される、人間福祉学部主催の「学部卒業生の集い」のご案内を卒業生の皆さんに、近日中にさせていただきます。

あなたに郵便物が届く、連絡先を上記アンケートの回答と共に、返信用ハガキに忘れずにご記入下さい。

## お願い3

生涯学習の一環として実施する「パイロット・研修プログラム」は、上記のアンケートの結果や福祉関連職場の経営者の皆さんへのヒアリング調査の結果を踏まえて、構築していきます。

この研修会に参加を希望される人間福祉学部卒業生の皆さんには、研修を評価する「研修評価モニター」に登録していただくことにより、無料で研修を受講して頂けます。また、研修プログラム終了後、「研修評価（アンケート形式）」を提出して頂いた場合、薄謝を進呈します。

### 現在想定しているパイロット・研修プログラム（案）

**テーマ：**キャリア開発促進のための必須アイテムの獲得

**名称：**福祉エンプロ向上セミナー

**ねらい：**キャリアアップに欠かせない知識・技術・態度を「見える化」する手法を伝授し、あなたの人材力のアップを図ります

**メニュー：** リスク・マネジメント、認知症ケア、セルフ・エスティーム  
福祉スーパービジョン、人間関係、災害時介護、事務能力  
リーダーシップ、バーンアウト予防 ほか

**方法：** 講義+演習+実習

**備考：** 日程と関心のあるテーマについて、1コマの出席も可能です

具体的な日程等は近日中にご案内します。

あなたに郵便物が届く、連絡先を

上記アンケートの回答と共に、

返信用ハガキに忘れずにご記入下さい。

